学校推薦型選抜（文学部）

小論文課題

令和六年十二月十四日

一〇時〇〇分～一二時〇〇分

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この課題冊子を開いてはいけません。
- 二、この冊子の本文は全部で五頁です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があったら、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三、解答用紙は、課題（一）用が三枚、課題（二）用が三枚の計六枚あります。解答用紙の指定欄に受験番号（二箇所）、氏名を記入しなさい。
- 四、解答には、必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用しなさい。
- 五、解答用紙は縦書きにして使用しなさい。
- 六、草稿用紙が足りなくなった場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 七、解答用紙、課題冊子は持ち帰ってはいけません（草稿用紙は持ち帰ってください）。

課題（一） 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

(松澤和宏『生成論の探究』)

設問 著者の議論によれば「近代的作者」とはどのようなものか。八〇〇字程度で説明せよ。

課題 (二) 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

(キヤスリン・ページ・ハーデン 『遺伝と平等』)

著作権の都合上 削除

設問
傍線部の結論を踏まえて、「構造的な障壁」を取り除くことについてあなた自身の
考えを八〇〇字程度で述べなさい。